

現在の子どもの様子		ねらい	行事	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ぱんだ組の部屋へ移行し、目新しい玩具に夢中になっている。 ・進級をした事を喜び、新しい生活に期待を持って登園しているが、環境の変化や新しい保育士に戸惑いを持つ子や、落ち着かない子中にも見られるが、全体的には、落ち着いて生活できている。 ・好きな遊びを友だちと一緒に進めたり、簡単なルールのある遊びを楽しんでいる。 ・身の回りのことは自分でほとんどできる。さまざまな活動に興味を示し、積極的に取り組んだり、参加したりしている。 ・気持ちがぶつかったときは、保育士に助けを求めたり、自分で気持ちを伝えようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ・自分の好きな遊びを見つけ、友達や保育士と十分に楽しむ。 ・春の自然に触れ、親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園・進級おめでとうの日 (2日) ・英語であそぼう (13日) ・おはなしの会 (20日) ・幼児集会 (25日) ・子どもの日集会 (27日) ・4歳児視聴覚検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・進級した一週間は、子どもたちも落ち着かずだったが、2週間目から生活の流れがわかり始めてくる。 ・話に夢中になりがちで活動に遅れてしまうが、特に保育士が声を掛けずに見守っていると、その子自身が気づき活動に参加しようとする子が増えてきた。 ・友だち同士でトラブルもあるが、すぐに保育士が入らずに見守るようにすると子どもたちで解決しようとする姿もあった。
内容	環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り
<p>養護生・情(教育(健・人・環・言・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園生活に期待を持ち、安心して過ごす ・新しい生活の場にも慣れ、身の回りのことを自分で行う。 ・戸外や室内で好きな遊びを見つけ、保育士や友だちと親しむ。 ・異年齢との交流を通して、大きくなった喜びを感じ合う。 ・戸外で春の自然に触れ、遊ぶ。 ・要求や思いを安心して保育士や友だちに伝えようとする。 ・こいのぼりの製作を楽しむ。 ・春の絵本や歌に興味を持ち、楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた雰囲気の中で一人ひとりの子ども気持ちを温かく受け止め、安心して生活できるようにする。 ・自分の持ち物の場所がわかり、身の回りのことを自分でしようとする。 ・自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ。 ・戸外で友達や保育士と一緒に、からだを十分に動かして遊ぶ。 ・他クラスとの担任と事前に打ち合わせをして、交流する機会を設ける。 ・散歩や園内で身近な春の自然に親しむ。 ・安心して自分の気持ちを表せるような雰囲気作りをする。 ・製作、素材の準備をする。こいのぼりに出会う機会が持てるように場所を確認しておく。 ・春らしい絵本や手遊び、歌を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の受け入れから、丁寧にコミュニケーションをとり、安心して一日が始められるようにする。 ・持ち物の置き場所には各自のマークを見えやすい位置に貼るなどして、安心して行動できるように環境を整えておく。 ・全体の安全を見守りながら、保育士も一緒に遊び、楽しさや新たな発見の喜びを共有していく。 ・異年齢との交流を通して、年上としての意識を持ったり、進級した喜びを感じられるようにする。 ・散歩先で見つけた草花で遊んだり、飾ったりして、親しみを持てるようにする。 ・子どもが話し掛けてきたときは、じっくりと子どもの目線で気持ちを聞き、安心して話せる雰囲気を作る。 ・こいのぼりを見つけた時には、色や模様、大きさなどへの子どもの気付きに共感し、興味が深まるようにする。 ・保育士も一緒に歌ったりし、楽しさを共有する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちとの信頼関係を築くため、褒めながら遊ぶことを中心に活動すると、子どもたちも安心して過ごすようになってきた。また、子どもたちからも「楽しい！次は何するの？」と活動に期待する声がかかれた。 ・身のまわりのことを自分でできるが、順番を競いがちになる為、丁寧にやることを自重点におく。褒めながら子どもたちのやる気を出させていくように心掛けた。 ・異年齢児の関わりでは、簡単なゲームを取り入れたり、リレーを通して5歳児との交流がとれた。また、散歩で小さなクラスに優しくする姿も増えたので、引き続き異年齢との関わりが持てるようにする。 ・園庭や散歩先では、虫探しが行き夢中に探す姿があった。虫カゴを用意すると捕まえた虫を入れ、観察したり図鑑で調べるなどの生き物にも興味をもてるようになった。 ・全体を通して、子どもたちの興味のある遊びを十分に行った結果、子どもたちも満足して過ごす。 ・製作では、全体に行わずに個々でゆっくり取り組む。子どもたちも集中をして楽しめた。また、季節の歌もよく覚えて楽しめた様子。 ・子どもたちの主体を大切にすることで、活動も流れるようになる。
<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中、みんなで食事をし、食べる楽しさを味わえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の量を調節しながら、楽しく食べられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の量を調節し、保育士も一緒に食事を取りながら、楽しい雰囲気づくりを心掛ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な食べ物も少量にすると完食する子も増えてきた。 ・おかわりすることも楽しみの一つで、楽しい雰囲気の中で食事できる。 ・箸が使えない子もいるので、自宅でも練習してもらったり遊びを通して箸遊びを取り入れていきたい。